

【オリコンサル BIM/CIMの高度活用事例を共有】

BIM/CIMの 高度活用事例を共有

オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、BIM/CIM成果発表会を開いた。同社が直近1年間で取り組んだ約160件のBIM/CIM活用業務の中から高度活用事例として8件の報告があり、参加した約330人の役員がBIM/CIMとこれに関連したDX（デジタルトランスフォーメーション）技術の活用方法や、より高い付加価値の提供ノウハウを共有した。

今回は、3Dに時間・コストを加えた5Dを使ったトンネルCIMモデルの検討や3

次元管内図を事業マネジメントに活用した事例、ハンディLPを使ったオーバーハング地形のモデル化など複雑な地形や地質に対するきめ細やかな検討、設計にBIM/CIMを活用した事例や、複数の事業が同時進行する工事現場で工事手順・進捗（しんちよく）を見える化して施工課題を解決した事例などが発表された。

講評した野崎秀則社長は、「最適化と総合化、チャレンジの三つのキーワードを共有したい」とした上で、「2030年に向かってどのように

DX戦略を実行していくのか、その戦術を共有しつつ、チャレンジを繰り返してほしい。そのチャレンジによって、日々の成長を実感しながら成果を創出してほしい」と要請した。